

新たな勝負はもうすぐ！  
蓄えた力を活かそう！

日光小田代ヶ原 撮影 蒲井 勇

# 栃木県 看護連盟 だより



平成23年  
9月20日発行  
第47号

発行者：栃木県看護連盟  
〒320-0838 宇都宮市吉野2-8-15(社)栃木県看護協会研修センター内  
TEL 028-610-1035

発責任者：栃木県看護連盟会長 伊藤正子 印刷所：(株)井上総合印刷

## INDEX

ご挨拶  
伊藤正子／清水嘉与子……………2  
あべ俊子／高階恵美子……………3  
平成23年度事業計画……………4  
ポリナビワークショップ……………7  
OB会の発足  
創立50周年式典並びに……………8  
平成23年度定期総会  
新支部長ご挨拶……………10  
趣味〔自然生活体験キャンプについて〕……………12  
新編集委員紹介……………12

平成23年度8月現在  
**栃木県看護連盟会員数** 連盟 6932名  
協会 10126名

	男性	女性	合計
保健師	9名	142名	151名
助産師	0名	250名	250名
看護師	392名	5729名	6121名
准看護師	31名	379名	410名
合計	432名	6500名	6932名

協会比 68.5% 賛助会員 239名

## 連盟会員募集中

会費7,000円(本部5,000円,県2,000円)／年(賛助会員1,000円／年)



## 創立50周年を 迎えて想う



栃木県看護連盟会長  
伊藤正子

去る6月18日の「看護連盟創立50周年記念式典」に来賓の先生方と会員350名が出席を頂き、有難うございました。高階恵美子先生も当選後初めて大勢の皆様とお会いできることが叶いました。私たちの代表が国政の場で大活躍し、被災地でも阿部俊子先生と協力し中心になって救援活動に努めていることは大変光栄なことです。

また当日、表彰を受けられた37名の皆様方も長い間連盟活動にご尽力下さり、本当に有難うございました。

記念講演では、政治・経済・医療・福祉・命の問題まで報道の最前線でご活躍され、この度神奈川県知事に就任されました黒岩祐治先生をお招きし、「看護と政治」についてのご講演をいただきました。看護職の力強い支援者としてご尽力いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度も「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに掲げ、～確かな政策実現力を持ち、そして東日本大震災の復興に看護の力を結集しよう～を目標に活動開始することに致しました。確かな政策実現力のある組織づくりを目指すには、組織力・集票力・人材力を強めていくことが重要です。今回の厚生労働省の通知の「看護師等の雇用の質の向上に関するプロジェクトチームの報告書」に基づく3つの取り組み（①職場づくり”人づくり②ネットワークづくりを目指し）を実現させていくためにも連盟の役割は大きくなる一方です。次期参議院選挙に向けては、まず会員増と選挙に参加することを確認し合い、目標数7500票が獲得できるように努力したいと思っています。まだ候補者は決まりませんが、いつ決まっても万全の準備が出来ているように頑張りましょう。前回の選挙の反省では会員の50～60%が棄権していることが解りました。一生懸命活動したのに・・・と思いますと残念でもったいないことです。次回は会員全員の参加を目指して、7500以上の票を獲得し、看護職の底力を存分に出して、上位当選できるように頑張りましょう。

皆様方の力強い応援をくれぐれもよろしくお願い致します。

## 先行きは厳しい しかし…



日本看護連盟会長  
清水嘉与子

福島原発の事故を受けて、7月1日から本格的な節電の夏が始まりました。大口需要者の節電義務付けだけでなく、一般家庭でも節電努力が求められています。しかし連日30℃をゆうに超す暑さ、熱中症対策のためにも行き過ぎた節電はなさいませぬように。

日本看護協会総会で会長が交代し、翌週行われた看護連盟総会では坂本新協会長が連盟との協力関係の重要性を延べられるなど、協会・連盟関係は新しい時代に入りました。

東日本大震災から早くも5ヶ月というのに課題はまだ山積。こんな中での引退を表明したはずの菅総理の行動をめぐって国会が膠着状態になっているのは困ったものですが、看護連盟としては今後の政治情勢に目を配りつつ、超高齢社会を迎えるわが国で、看護職が専門職として貢献できる看護政策実現のために、国政の場へ看護の代表を送るという活動を引き続き進めなければなりません。

次期選挙は議員定数の見直しなどこれまで以上に当選のハードルが厳しくなることが予想されていますが、必ず成功させることを目指し、日本看護連盟は今年支部組織づくりを連盟の重点目標にかかげて活動を展開します。栃木県に置かれても伊藤会長を中心に、支部活性化に向けて一層ご活動くださることを期待しております。

この度の東日本大震災で被災された皆様、犠牲になられた皆様に、心からのお見舞いと哀悼の誠を捧げます。また被災地の内外を問わず、全国の看護職の皆様から多大なるご支援を賜り、心から敬意と感謝を申し上げます。

被災直後は私も党内の緊急災害対策本部の医療班として、被災地からのニーズに沿った物資・医薬品等の手配や運搬に微力ながら携わらせていただきました。行政は混乱し、被災地の情報が正確に把握できない中、私にとって大きな力となったのが、全国の看護職から寄せられた被災地域の詳細な情報でした。「全国に仲間がいる」、私はあらためて看護職のネットワークの大きさを感じました。

現在、国会では会期が延長されており、震災対策関連の法案の成立を進めながら、一日も早い復興に向けてあらゆる力を集結して臨まねばならない状況となっています。この連盟だよりがお手元に届く頃には、復興へ向けての具体的な施策が着実に進められていることを願うばかりです。そして被災地をはじめ日本がこの先着実に復興していくには、いつも献身的で努力を惜しまない看護職の皆さんにこそ日本が元気になる鍵がある！と私は大いに期待をしております。どうかみなで力を合わせて、この国難を乗り越えていけるよう共に頑張ってください！

がんばろう日本、必ず復興します！

3.11に発生した平成の国難は今だ進行中です。この間、看護職の皆様には過酷な惨状にひるむことなく、また苛酷な業務にも労苦をいとわず、日々たゆまぬ努力でご支援を続けていただいております。みなさまの深い思いやりと真摯な活動姿勢に、衷心より感謝を申し上げます。

さて、「人の生きる力を守る」看護のパワーを「社会の生きる力を創り出す」政治へと活かす」第一歩を踏み出した日から早や一年が経ち、二年目がスタートしました。

参議院議員としての最初の一年を振り返ってみますと、初めて臨む臨時国会では自らの歳費を削減する法案を決議し、続く厚生労働委員会の初質問では看護界の現在・過去・未来に共通する構造的な課題を明示し、次代に対応できる新たな社会保障体系を構築する政策の立案を急ぐよう提案しました。

同時に党では、女性局長代理として全国約39万人に及ぶ自民党女性たちの意見を集約して組織の活性化を図る任務にあたっています。年明け3月4日には、厚生労働部会と同部会看護問題小委員会合同による「穏やかな最期を保証するコミュニティづくり」に関する中間報告をとりまとめました。さらに看護職の先輩たち仲間たちが長年培ってきた看護問題対策議員連盟（看護連）については、会員拡大を図り、同僚議員等とともに各地の看護の現場へお邪魔してご意見を頂戴するなど、実際の業務を見て解決策を考えていただく活動も始めました。

人々の健康的な暮らしを実現するために必要な看護職だからこそ言えること、やらねばならないことが山積しています。大震災の残痕から、愛する故郷日本の暮らしを取り戻す戦いもまた、この時代に生きる私たちに与えられた試練の一つと受け止めています。

みなさまとともに、我らが行く先をしっかりと見据えて、地に足の着いた活動を心がけて参ります。

## 看護職こそ復興の要



衆議院議員

あべ 俊子

## 地に足の着いた活動を



参議院議員

高階 恵美子



# 平成23年度事業計画

重点目標

## 組織活動を充実させる

重点活動

- 1. 確かな政策実現力 看護現場の声を理解する議員を増やし、希望する政策を実現させる力
- 2. 強力な集票能力 現役10,000人の看護職に見合った集票力
- 3. 多くの人材提供力 選挙をできる人材を多数抱える力

項	目標	県	支部	活動
I 政治力の強化	確かな政策の実現力	○	○	1) 会員への情報提供をより効果的に行う 2) 看護現場の課題を社会に伝える 3) 看護協会とともに陳情・要望活動を行う 4) 看護を支援する国会・地方議員との日常関係を強化する 5) 現場の声を国会・地方議員に伝える
		○	○	1) 第23回参議院選挙に向けた活動を行う 2) 次期衆議院選挙に向けた体制を整備する 3) 関係団体との連携を強化する
		○	○	1) 国会議員・県議会議員との勉強会を実施する 2) 看護問題対策議員連盟への対応を強化する 3) 国会議員・県議会議員の主催する会合等へ出席する
	多くの人材提供力	○	○	1) 栃木県に看護問題対策議員連盟を発足する 2) 看護職地方議員支援体制を強化する 3) 県看護連盟の政治力を強化する
		○	○	1) 人材育成コースに推薦する 2) 政治アカデミー卒業生を活用する
		○	○	
II 組織の強化・拡大	強力な集票力を持つ組織	○	○	1) 県・支部の獲得票を明確にする 2) 確実な目標管理をする 3) リーダーの自主性促進を図る 4) 看護管理者や看護教育者の政治参加を進める
		○	○	1) 支部活動を中心に会員を増やし、一人ひとりの活動を強化する 2) 支部数を増加し、きめ細やかな活動体制を進める 3) OB会の設置・充実をはかる
		○	○	1) 看護管理者トップセミナーへの参加
		○	○	1) 若手会員の主体的活動を充実・促進させる 2) 積極的に支部の役割に登用する 3) 青年部（ポリナビ）活動の充実
		○	○	1) 他団体との連携強化
		○	○	1) 学生会員に看護政策の必要性について学ばせる

項	目 標	県	支部	活 動	
Ⅱ 組織の強化・拡大	自覚に基づいた活動するの機会を増やす	1.リーダーの養成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1) リーダーの自主性促進のためのセミナー
		2.各選挙に積極的に参加・協力する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1) 役員・会員の選挙活動の経験を高める
		3.研修の体系化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)基礎研修 2)続・基礎研修 3)リーダーセミナー 4)新人支部長研修 5)新人会長研修 6)看護部長ワークショップ 7)看護教育者セミナー・看護管理者セミナー 8)若手会員・一般会員・OB会員等
	活発な情報流通	1.会員の意見を政策提言に活用する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)ホームページ・機関誌・機関紙に会員の声を掲載する 2)「現場の声」を国会議員や看護協会等の政策立案に役立たせる
		2.会員及び非会員に対する広報活動を推進する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)機関誌・Weekly アンフィニ・連盟だよりを発行し、情報を提供する 2)ホームページの活用 3)看護連盟に対する会員の理解を深める 4)政治・選挙に関する会員の理解を深め、行動する会員を作る 5)看護職議員の活動を周知する
	Ⅲ 組織の適正な運営管理	1.施設・支部・県・本部・協会の一連した組織活動を推進する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)県・支部相互の意見交換を行う ・総会 年1回 ・支部長会 年6回以上 ・役員会 年3回以上 ・推薦委員会 年2回以上 ・広報委員会 年4回以上 ・合同会議 年1回 ・合同研修会 年1回 2)日本看護連盟との意見交換を行う ・本部総会 年1回 ・全国会長会 年3回 ・ブロック別会長会 年1回 ・県・支部別会議 年1回 ・都道府県別会議 年1回 ・全国協会長・連盟会長会議 年1回
2.事務局の運営を適正に行う		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)会員を適正に管理する 2)財政を適正に管理する 3)職員を適正に管理する	
Ⅳ 会員の福祉	1.慶弔への対応	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)規約に基づき対応する	
	2.諸問題への対応	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)専門家と相談の上、速やかに問題解決する	

# 平成23年度 収支予算書

自 平成23年4月1日  
至 平成24年3月31日

## (収入の部)

△印は前年度より収入減(単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 会員会費	13,800,000	13,440,000	360,000	6,900名 @2,000
II 賛助会員会費	300,000	300,000	0	300名 @1,000
III 本部助成金	13,500,000	13,500,000	0	還元金・研修・運営助成金
IV 預金利子	4,000	4,000	0	
V 雑収入	200,000	200,000	0	研修会会費
当期収入合計(A)	27,804,000	27,444,000	360,000	
前期繰越金収支差額	6,762,391	6,038,358	724,033	
収入合計(B)	34,566,391	33,482,358	1,084,033	

## (支出の部)

△印は前年度より支出減(単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 組織活動費	25,300,000	24,700,000	600,000	
1 機関紙費	1,500,000	1,500,000	0	栃看護連だより年2回
2 総会費	1,500,000	2,000,000	△500,000	本部1回・県1回
3 組織対策費	9,300,000	13,200,000	△3,900,000	支部活動・支部長会・役員会
4 教育費	7,500,000	7,500,000	0	研修会
5 50周年記念事業費	5,000,000	0	5,000,000	
6 渉外費	500,000	500,000	0	団体関係
II 経常経費	9,250,000	8,750,000	500,000	
1 人件費	6,500,000	6,000,000	500,000	福利厚生費(退職金積立等)賃金等
2 備品消耗品費	250,000	250,000	0	文具・印刷代・コピー用紙等
3 事務所費	2,500,000	2,500,000	0	家賃・通信費・振替費
III 予備費	16,391	32,358	△15,967	
当期支出合計(C)	34,566,391	33,482,358	1,084,033	
当期収支差額(A)-(C)	△6,762,391	△6,038,358	△724,033	
次期繰越金 収支差額(B)-(C)	0	0	0	



## 第2回 ポリナビワークショップin栃木～仲間・夢・未来～を終えて

栃木県看護連盟青年部では、平成23年5月21日に“第2回 ポリナビワークショップin栃木”を開催し、県内各施設より約200名の参加者が集いました。

今回は、『仲間・夢・未来』をテーマに、ワークショップを行いました。

講演は、自治医科大学附属病院看護部 緩和ケア認定看護師である小松崎香先生より「私と緩和ケア」をテーマに御講演頂きました。我が国では、死因の第一位が‘がん’であり緩和ケアの需要は高まっています。がん患者の特徴、緩和ケアのあり方、看護師の役割について学ぶ、良い機会となりました。

また、前回好評でした「ユニフォームコレクション」を行いました。病棟の特殊性や機能性を考慮した、様々なユニフォームを見ることができ、今回も好評を頂きました。

グループワークにおいては、「ナース川柳」と題し、日々仕事をしている中で思ったこと、感じたことを率直に話し合ってもらい、その想いを川柳にのせて発表してもらいました。活発なグループディスカッションの後、看護師であれば誰もが共感できる喜びや感動、愚痴などが盛り込まれた、31句の川柳が発表されました。

今までは、他病院の若手看護師と話し合う機会が余りありませんでしたが、これからはポリナビワークショップや研修会を通して、様々な人と出会い、話し合える機会を作っていきたいと思います。たくさんの若手会員の皆様に連盟活動に興味を持って頂き、看護の明るい未来を作り上げていけるよう、情報発信していきたいと思っています。

栃木県看護連盟青年部メンバー古山 実紀



小松崎 香先生



グループワーク



ポリナビ実行委員

左より 滝口 貴大・高木慎一郎・古山 実紀

OB会  
発足の  
お知らせ

## OB会実行委員に就任して



OB会実行委員  
後列：中央左より 中山 知子OB・落合 信子OB  
前列：左より 谷口 静江OB・武井 正子OB

去る7月12日（火）、看護研修センターに於いて第一回OB会を開催しました。伊藤県連盟会長、坂主副会長、直井幹事長同席の元、私達実行委員、武井正子、山中知代子、谷口静江、落合信子の4人の顔合せです。

この会の主旨は現役を退いたOBも連盟活動に協力できるとの考えから全国的に運動を広めていこうとするものです。会の目的は、①OB会員相互の親睦を図り、看護連盟活動に協力すること。②看護連盟の目的達成（看護の代表を国政に送ること）に寄与することです。

若い人達のポリナビパワーに負けないよう、今迄の経験や知識、人脈をフルに活用してオールパワーを発揮していきたいと思っています。2年後には参議院議員選挙があります。看護の代表候補者が決まればよいよ私達OB会の活動開始となります。それまでは情報把握に務め、来たる日に備えておきましょう。看護の環境改善に向けて私達OB会も及ばずながら力を尽したいと思っていますので、この主旨に賛同する方はぜひ私達と一緒に活動しましょう。OBの皆様のご協力をよろしくお願い致します。（落合 信子 記）



栃木県看護連盟

# 創立50周年記念式典

平成23年6月18日 於 コンセーレ



授賞された方々

## 50周年記念表彰者 受賞の声



自治医科大学附属病院  
看護副部長  
工藤 祝子

このたび、コンセーレで開催された平成23年度栃木県看護連盟創立50周年記念式典において連盟会長表彰を賜りましたことに、感謝申し上げます。連盟には、看護協会と同時に入会しまして、今年で37年目を迎えています。連盟活動を意識するようになったのは、師長という立場になり、スタッフに連盟活動を紹介しながら会員を増やしていく頃ではなかったでしょうか。看護の課題が山積する中で、諸先輩の意見に刺激を受けて、活動を進めていくことができました。その課題を解決してゆくためには、看護職の代表を国政に送ることが不可欠であります。地道でも、たゆまぬ努力が必要であり、決して諦めることなく、看護の現場から常に意見を届けることが自分たちの役割であると思います。

栃木県の看護連盟が創立50周年を迎えるには多くの方のご尽力の賜物と感謝申し上げます。そして、自分たちの選んだ仲間（国会議員）が政治の舞台でその役割が果たせるよう、今以上に努めていく所存であります。

このたびは、本当に有難うございました。







高階恵美子参議院議員ご挨拶



黒岩神奈川県知事

ジャーナリスト時代ご尽力された救急医療キャンペーンが救急救命士の誕生として実を結び、看護制度改革にもつよい意欲を示された

# 平成23年度 通常総会

記念式典後、350余名の参加者を持ち、総会が開かれた。審議事項・特別会員新設も承認され、盛会の内に終了した。



# TOPIX

自民党とちぎ未来塾  
◆◆自民党栃木県連◆◆



講師 衆議院議員 阿部 俊子

「継続可能な社会保障」というテーマで講演された。

平成23年8月6日(土)  
ホテル ニューイタヤにて





## 栃木県看護連盟 新支部長ご挨拶

### 独協医科大学日光医療センター 原 弘子



今年度、日光支部の支部長を拝命いたしました。昨年までは、幹事長という立場で看護連盟活動をしてきましたが、「たかがいさん」の参院選では、連盟のあり方を理解することができ、また選挙の大変さを実感しました。日光地区の病院を回って連盟活動をしたり、票を集めること

が一番大変だったように思います。しかし、連盟というと“一致団結”“元気”というイメージのとおり、先輩方の気さくな人柄や闘志満々な姿勢に刺激を受け、楽しく仕事をさせて頂くことができました。

支部長としての今後の課題は、「会員に、如何に連盟活動を伝えていくか、確実票を獲るか」だと思います。長い看護の歴史の中で、政治が担った大きな役割、そして私たちの待遇が変わったことを伝えることが大切であり、また、第23回参院選に向けて検討していかなければならない事項もあります。

看護と政治は切り離すことができません。連盟の役割である私たちのベットサイドの声を政界に伝える道筋をつくること、そのためには栃木県の会員を増やし、組織を強化して看護職から国会議員を出すことができるよう頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

### 獨協支部長 藤井 洋子



今年度、平成23年度日本看護連盟通常総会に参加をさせて頂き、連盟の様々な活動報告と共に高階恵美子参議院議員、あべ俊子衆議院議員の活躍を確認することができました。

その内容に3.11の大震災直後に被災地訪問と物資の救援を行い、現地の方々の要請・要望を伺い、看護職の代表として政策に反映させている報告により、迅速な行動を確認し、代表を国会に誕生させることができた前国政選挙の成果を認識しました。同時に国会の中で様々な委員会への参加や多くの質問などをすることができ、現場のベットサイドからの意見を反映させるには、更に多くの代表を誕生させる必要性を重く受け止めました。

今後の連盟活動の目標として、

- 1) 若い世代から政治に関心を持って、連盟活動への理解が得られる。
- 2) 看護職の様々な環境改善には代表者が必要である意味・成果を広く伝えていく。

上記2目標に対して、栃木県看護連盟・獨協支部役員・会員の方々のご協力を頂きながら一生懸命活動してまいりたいと思っております。

未だ被災されている方々と復興のために活動されている全ての方々のご健康と一刻も早い復興をお祈りいたします。

### 宇都宮社会保険病院 山口 久美子



この度、支部の再編により7月1日から石橋総合病院と宇都宮社会保険病院がともに活動していくことになりました。そして支部長の大役を仰せつかりました。初めてのことで右往左往しているのが現状ですが、皆さまのご指導をいただきどうにか船出をさせて頂きました。

今までは自施設だけの活動でしたが、同規模の二つの施設で活動することによりそれぞれの施設の特性を活かして、共に連携・協力することによって活動の発展性を期待しています。相互に意見交換し、現状確認を行い具体的に何ができるか検討して協力していければと考えています。専門職として看護連盟の役割と重要性を認識して結果を出せるように、会員の皆さまと目標に向かって地道にできることから行動していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

### 国際医療福祉大学病院看護部長 土田 佐津子



皆さま、こんにちは。

国際医療福祉大学病院 看護連盟支部長を拝命いたしました。皆さまと共に努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

今、組織（医療・看護）を取り巻く環境には様々な課題があり、看護職の果たす役割はますます増大してきている現状があり、看護管理者の方々には対応に大変苦慮されていると思われま

す。当院においても、看護職は患者様に最善の看護を提供したいと、日夜を問わず24時間切れ目なく患者さまのベットサイドで一生懸命看護をしている姿を見ると頭が下がる思いであります。

業務を見回すと看護職でなくても良いと思われる業務が多々あり、専門職としての業務を行える環境改善が必要なことは言うまでもありません。看護職が生きいきと誇りを持って動き続けられる組織の環境づくりが、喫緊の責務だと考えております。

今後とも、ご支援、ご協力をお願いいたします。

### 小山支部支部長 針谷 清子



今年度、小山支部支部長に就任させて頂きました。小山支部は、栃木県の南に位置し会員数81名の栃木県看護連盟のなかでも小さい支部の1つです。2005年にリフォーム連盟として支部が発足し連盟スローガンの「ベットサイドから政治を変える」の下、支部活動が開始して7年目になります。私達看護職の労働環境を改善することは、患者さんの療養環境を改善することにも繋がります。改善を実現するためには、看護職の仲間を国政に送り活躍して頂く必要があります。その為には、看護職が一丸となって政治に参加しなければなりません。今後も、近隣の病院・クリニック・施設などに働き掛け、連盟活動の必要性を理解していただき選挙に繋げて行きたいと思っております。小山支部は小さい支部ですが、前支部長の小さい支部の利点を活かした小回りのきく連盟活動を引き継ぎ、これからも活き活きと活動を続けて行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



# ひとときわ輝く 天然ジュエリー

20%~40% off

## ジュエリー オオタキ

ジュエリーアキヤマで購入した品物のアフターサービスも承ります。

〒354-0013 埼玉県富士見市水谷東2-41-3  
TEL.048-473-7838 FAX.048-473-7838

美しく生きる女性を  
応援します。

グランドフェザーグループ

## 株式会社 グランデ

〒327-0826 栃木県佐野市茂呂山町7-7  
0120 0120-03-6131



羽毛布団のご用命は

## 東洋羽毛北関東販売株式会社 栃木営業所

〒323-0029 栃木県小山市城北3-11-6  
TEL 0285-23-3489 FAX 0285-23-0914  
0120 0120-437306

## 自分史を作りますか？

一人の人間が長い人生を歩んできた証文、  
自分で書いた自分の鎮魂歌、それが「自分史」。

## 株式会社 井上総合印刷

〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曾町1355  
TEL.028-661-4723 FAX.028-662-7607

この趣味のコーナーにあなたの趣味をお寄せください。

# 趣味コーナー

## 自然生活体験 キャンプについて

とちの木病院 看護部長 氏家 佐知子

私は、平成5年から栃木県キャンプ協会に所属し、小学校高学年～中学生対象の自然生活体験キャンプに参加していますが、このキャンプはガスも水道も電気も無い自然の原野(那須塩原太陽の丘)で、4泊5日の自然生活体験キャンプが行われます。5月頃から仲間のキャンパー達と下草刈、トイレの穴掘り、下見の安全確認を行い、準備を進め子供たちが夏休みの8月上旬に、企画しています。

キャンプ当日は、小中学生達とテント設営、水汲み、かまど作り、薪拾いから始まって、野外料理に挑戦です。まずは火起こしが最初の課題です。火が起こせなければ、食事にありつけません。プログラムに沿って、自然観察、源流探検、登山、星空観察、暗闇体験ナイトハイクと様々な体験をして、最終日は、フェアウェルパーティーで、自慢の料理を持ち寄って皆で楽しめます。

この体験を通して、小中学生達は、水道の蛇口を捻れば水が出て、ガス栓を捻れば火が使える、スイッチを押せば電気が使える事の難さを実感し、暗闇の中で聞こえる風の音、水の音、虫の声に耳を澄ませ、夜空の月や星の明るさに感動し、大変だからこそ仲間と支えあう事の大切さを学んでいきます。



ガス・電気・水道のない自然の原野で…

切さを学んでいきます。

私は、忙しい看護業務の合間に、自然豊かな緑の原野にもぐりこんで、小中学生達が成長していく姿を見るのは、楽しみの一つです。初めは、自分の子供たちを連れての参加でしたが、今では、年を忘れて子供に帰った気分で、自然生活を楽しんでいます。近頃は、キャンプも色々で、幼稚園～小学校低学年対象の「わくわく子供キャンプ」や高齢者対象の「シニアキャンプ」も企画されていて、そろそろこちらのキャンプにシフトしていこうと思っています。



神田 貴代 直井 知子 藤井 祥子

### 新編集委員

新しい編集委員2名と共に読みやすく、楽しい会報を作る意気込みは充分です。みなさま、どうぞよろしくお願いたします。皆様のご意見をお寄せ下さい。

みんなて  
参加しよう!

今後の  
活動予定

10月6日(木)  
国会見学

11月9日(水)  
青年部  
研修会  
場所:コンセーレ

### 編集後記

暑い夏も過ぎ、しのぎやすい季節となりました。栃木県看護連盟も50年という節目の年を迎えることができました。これもひとえに諸先輩方が、大変な困難にも動ずることなく努力を重ねた結果であると感謝しています。これからも私達会員1人1人が歩を確実に進め力を結集させ、大いなる看護の力を発揮していきましょう。(直井 記)